

漁獲シナリオ等の検討

令和5年9月21日(木)

第1回資源管理方針に関する検討会
～マイワシ太平洋系群～

水産庁

1. 今回検討すべき事項等

- ① 資源評価結果について
- ② 漁獲シナリオ(案)

2. 今後のスケジュールについて

1. 今回検討すべき事項等

① 資源評価結果について

- 昨年度の資源評価において、以下を含む評価方法の一部変更が行われた。
 - ・ 外国の漁獲量も含める
 - ・ 将来予測の設定を変更(バックワードリサンプリング、直近3年の魚体重の反映)
- 上記の一部変更に伴い、現行の漁獲シナリオの策定時に用いられた令和2年の資源評価結果と比べて、将来予測における平均漁獲量や目標管理基準値の達成確率が大きく変わった。
- なお、資源管理の目標等の数量について変更はない。

資源管理の目標等	数量
2022年の親魚量	240.5万トン
目標管理基準値(Target Reference Point: TRP) (※変更なし) =MSYを達成するために維持・回復させるべき目標となる親魚量	118.7万トン
限界管理基準値(Limit Reference Point: LRP) (※変更なし) =下回ってはいけない資源水準の値。MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量。	48.7万トン
禁漁水準値(※変更なし) =MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量。	6.9万トン

1. 今回検討すべき事項等

① 資源評価結果について(本年の資源評価結果の概要)

将来の平均親魚量(万トン)

2031年に親魚量が目標管理基準値(118.7万トン)を上回る確率

β	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
1.3	240.5	242.4	227.8	302.1	263.7	248.1	241.9	233.6	203.4	184.3	85%
1.2	240.5	242.4	227.8	310.7	277.0	263.0	257.0	248.7	217.3	197.1	93%
1.1	240.5	242.4	227.8	319.6	291.1	279.0	273.6	265.3	232.8	211.3	97%
1.0	240.5	242.4	227.8	328.8	306.2	296.5	291.8	283.7	250.0	227.2	99%
0.9	240.5	242.4	227.8	338.3	322.2	315.3	311.8	303.9	269.2	245.1	100%
0.85	240.5	242.4	227.8	343.2	330.6	325.4	322.5	314.9	279.7	254.9	100%
0.8	240.5	242.4	227.8	348.1	339.2	335.9	333.8	326.5	290.8	265.3	100%
0.7	240.5	242.4	227.8	358.3	357.4	358.2	358.1	351.7	315.2	288.3	100%
現状の漁獲圧	240.5	242.4	227.8	301.0	262.0	246.3	240.0	231.8	201.7	182.8	84%

将来の平均漁獲量(万トン)

β	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
1.3	111.6	104.9	97.1	123.9	108.9	102.8	96.7	90.5	83.6	76.2
1.2	111.6	104.9	91.0	119.3	106.6	101.4	95.8	89.9	83.3	75.8
1.1	111.6	104.9	84.8	114.2	103.7	99.6	94.5	89.0	82.6	75.2
1.0	111.6	104.9	78.3	108.4	100.2	97.1	92.7	87.7	81.6	74.3
0.9	111.6	104.9	71.6	102.0	96.0	94.0	90.3	85.8	80.1	73.0
0.85	111.6	104.9	68.2	98.5	93.6	92.1	88.8	84.6	79.1	72.1
0.8	111.6	104.9	64.7	94.8	91.0	90.1	87.1	83.2	78.0	71.1
0.7	111.6	104.9	57.6	86.8	84.9	85.1	83.0	79.7	75.1	68.6
現状の漁獲圧	111.6	104.9	97.8	124.5	109.2	103	96.8	90.5	83.7	76.2

(※) 現行の漁獲シナリオでは、2023年までは $\beta=1.2$ 、2024年以降は $\beta=0.85$ を使用。

1. 今回検討すべき事項等

② 漁獲シナリオの変更(案)

- 資源管理の目標等については、変更はないことから、現行のとおりとする。
- 目標管理基準値に係る漁獲シナリオでは
 - ・ 令和3年(2021年)から令和5年(2023年)までは、 $\beta = 1.2$
 - ・ 令和6年(2024年)から令和13年(2031年)までは、 $\beta = 0.85$ を用いることとなっている。
- ①直近の資源評価では親魚魚が目標管理基準値を大きく上回っており、また、 $\beta = 0.85$ では、目標管理基準値の達成確率も100%であること、②他方、 $\beta = 1$ を超える漁獲圧で漁獲を続けることは、加入の減少等が生じた際に資源を減少させるリスクが高まることから、当面、令和6年(2024年)から令和7年(2025年)までの2年間は、 $\beta = 1.2$ を継続してはどうか(※目標管理基準値を下回る場合には見直す)。
- また、現行の資源管理基本方針を策定した令和2年(2020年)の5年後に当たる令和7年(2025年)に、直近の資源評価、最新の科学的知見、漁業の動向その他の事情を勘案して基本方針について検討し、必要に応じて変更することとする。

2031年に親魚量が目標管理基準値(118.7万トン)を上回る確率

β	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	
1.3	111.6	104.9	97.1	123.9	108.9	102.8	96.7	90.5	83.6	76.2	85%
1.2	111.6	104.9	91.0	119.3	106.6	101.4	95.8	89.9	83.3	75.8	93%
1.1	111.6	104.9	84.8	114.2	103.7	99.6	94.5	89.0	82.6	75.2	97%
1.0	111.6	104.9	78.3	108.4	100.2	97.1	92.7	87.7	81.6	74.3	99%
0.9	111.6	104.9	71.6	102.0	96.0	94.0	90.3	85.8	80.1	73.0	100%
0.85	111.6	104.9	68.2	98.5	93.6	92.1	88.8	84.6	79.1	72.1	100%
0.8	111.6	104.9	64.7	94.8	91.0	90.1	87.1	83.2	78.0	71.1	100%
0.7	111.6	104.9	57.6	86.8	84.9	85.1	83.0	79.7	75.1	68.6	100%
現状の漁獲圧	111.6	104.9	97.8	124.5	109.2	103	96.8	90.5	83.7	76.2	84%

2. 今後のスケジュールについて

時 期	事 項	具体的な内容等
令和5(2023)年 10月下旬	水産政策審議会資源管理分科会 (漁獲シナリオの変更)	本日のSH会合の結果を踏まえた新たな漁獲シナリオについて、パブリックコメントを実施したのち、水産政策審議会資源管理分科会の意見を聴いて決定
令和6(2024)年 1月	新たな漁獲シナリオによる管理開始 (令和6管理年度)	管理期間: 令和6(2024)年1月1日～12月31日
令和7(2025)年	資源管理基本方針の変更の検討	漁獲シナリオを含む資源管理基本方針について、直近の資源評価、最新の科学的知見、漁業の動向等を勘案して検討し、必要に応じて変更